

教 職 員

「第2次阿見町教育振興基本計画」策定に係るアンケート調査(案)

— アンケート調査ご協力のおねがい —



日頃より、町政にご協力をいただき誠にありがとうございます。
現在阿見町では、令和3年度、令和4年度の2か年にかけて、「第2次阿見町教育振興基本計画」の策定に取り組んでおります。

計画の策定にあたって、町内小・中学校の教職員を対象にアンケート調査を実施し、計画策定の基礎資料とさせていただきたいと考えております。

なお、調査票は無記名でご回答いただき、調査結果については、統計的に処理致しますので、回答された方にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙中の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年11月
阿見町教育委員会

<ご記入にあたってのお願い>

- 1 本アンケート調査は紙の調査票(同封)での回答とインターネット回答が可能です。
- 2 インターネット回答をご希望の方は下記の URL または、右の QR コードからアクセスをお願いします。アクセス用 URL (仮) : <https://www.town.ami.lg.jp/>
- 3 インターネットでご回答いただいた方は紙の調査票の返送は不要です。
(どちらかで回答をお願いします)
- 4 ご記入いただきました調査票は、**11月 日 ()**までに本アンケート用紙が入っていた封筒に入れ、封緘して教頭先生に提出していただけるようお願いいたします。
インターネットでご回答いただく場合も **11月 日 ()**までにご回答をお願いします。
なお、学校では開封せず、期限後に学校教育課職員が回収し、未開封のまま集計委託業者へ引き渡します。勤務校や個人が特定されることはありません。
- 5 結果は校種別の統計となり、一般公開はされません。本計画の策定委員や町教育委員会職員が学校現場の声を把握するための資料として使用します。
- 6 この調査に関して、ご不明な点やご質問などございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。



アクセス QR コード
(サンプル)

お問い合わせ先：阿見町教育委員会学校教育課 担当：飯塚・大澤
電話：029-888-1111 (内線 321)

問6 阿見町の学校教育において、児童生徒が確かな学力や生きる力を身につけていくために、最も重要だと思うものはどれですか。(○は1つ)

- 1 自ら課題を発見し、解決する力
- 2 創造的な力やチャレンジ精神
- 3 英語を聞いたり話したりする力
- 4 コミュニケーション能力
- 5 将来の進路について考える力
- 6 社会で自立するための基礎的な力
- 7 伝統・文化を大切にし、地域を愛する心
- 8 その他 ()

問7 阿見町の学校教育において、児童生徒の道徳心の定着や健やかな体や心の育成として、身につけさせたい力で最も重要だと思うものはどれですか。(○は1つ)

- 1 豊かな心や道徳心
- 2 社会的な常識やマナー
- 3 社会に役立とうとする心や公共心
- 4 コンピュータを活用した情報モラル
- 5 心身の健康の自己管理能力
- 6 体力や運動能力
- 7 規則正しい基本的な生活習慣
- 8 防災教育など自らの安全を守る力
- 9 その他 ()

問8 阿見町の学校教育で豊かな心や健やかな体を育成するために、特に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(○は3つ以内)

- 1 道徳教育・人権教育の充実
- 2 読書活動の充実と習慣化
- 3 体験活動の充実
- 4 ボランティア活動の推進
- 5 スポーツの基礎づくりと体力の向上
- 6 薬物乱用防止に関する教育
- 7 給食における地産地消や食育の推進
- 8 いじめ問題などの相談体制の整備
- 9 家庭教育への支援
- 10 身の安全を守る能力の育成
- 11 保健衛生用品等の感染症予防設備の充実(マスク、消毒液、非接触型体温計など)
- 12 その他 ()

問9 阿見町の学校教育で取り組んでいる①～⑲の項目についての「満足度」と「重要性」について、あなたのお考えに一番近い番号にそれぞれ○をつけてください。

※設問数がたいへん多くなっており、回答に時間が掛かりますが、ご協力よろしく願っています。

		問9-1 学校教育の取組 《満足度》					問9-2 学校教育の取組 《重要性》				
		低い ← → 高い					低い ← → 高い				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
I 育てる教育の推進	例) 基礎的な学力を確実に身につける学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	①就学前教育の充実(幼児期の教育)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②基礎的な学力を確実に身につける学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③物事を多様な観点から論理立てて考える学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④国際教育や外国語によるコミュニケーション能力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤情報モラル(倫理・道徳)の向上や情報活用能力の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
II 豊かな心と健やかな体の育成	⑦特別支援教育(障害のある児童生徒に適切な指導・支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑧豊かな心を育てる教育(道徳教育など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑨学校で取り組んでいる読書活動・図書室の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑩伝統・文化に関する教育(郷土教育)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑪命を大切にする心を育む教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑫自然体験やボランティア活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑬児童生徒の体力の向上・健康増進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑭学校行事(運動会・文化祭など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑮学校給食・食育(栄養に関する指導)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑯部活動・クラブ活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑰キャリア教育(社会的・職業的自立に必要な能力の育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
III 教育力の向上	⑱いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑲児童生徒が教育相談等を受けることができる体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑳開かれた学校づくり(地域や家庭への情報発信など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉑家庭教育向上の支援(家庭教育学級など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
IV 高い教育環境の創造	㉒学校と地域との交流や地域の人材の有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉓誰もが平等に社会参画できる教育(人権教育)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉔避難訓練や防災教育, 学校の防災体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉕緊急時の保護者との連絡体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	㉖通学路の安全確保対策・交通安全教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉗学校施設(校舎・体育館・プールなど)の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

問 10 あなたは教育施策の効果についてどのように感じていますか。

①～⑥の項目についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。

(○は①～⑥についてそれぞれひとつずつ)

	教育施策の効果			
	大きい	どちらかとい うと大きい	どちらかとい うと小さい	小さい
①英語の教科化（小学校の教員のみ）	1	2	3	4
②特別の教科 道徳の推進	1	2	3	4
③アクティブラーニング※ ¹ の推進	1	2	3	4
④プログラミング教育※ ² の推進	1	2	3	4
⑤インクルーシブ教育※ ³ の推進	1	2	3	4
⑥主権者教育※ ⁴ の推進	1	2	3	4

※1:アクティブラーニングとは…教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、ディベートやグループワークなど子供の能動的な参加による学習によって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る教育の総称。

※2:プログラミング教育とは…コンピュータのプログラミングやそれに関わる技能や思考を学ばせることで論理的思考や情報活用能力、分析力を育成する教育。

※3:インクルーシブ教育とは…全ての人が参加できる「共生社会」の実現などを目的として、特別な支援が必要な子供も含め、全ての子供一人一人の教育的ニーズに合った教育を通常学級で行うこと。

※4:主権者教育とは…「市民と政治の関わり」を学ばせることで、選挙権を持つ主権者としての自覚を醸成する教育。

問 11 あなたが ICT 環境整備と併せて検討すべき内容だと思えるものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 教員の ICT 活用指導力の向上
- 2 ICT 活用を支える外部専門スタッフの活用
- 3 デジタル教科書・教材・CBT システム（コンピューターを利用した試験）の活用
- 4 ICT の活用にあたっての児童生徒の健康への配慮
- 5 保護者や地域等に対する理解促進
- 6 情報セキュリティの確保
- 7 校務における ICT 活用促進
- 8 その他（)
- 9 特にない

問 12 将来的な子供の減少など今後の教育環境の変化に対応していくため、阿見町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 児童生徒数が多すぎたり少なすぎたりする学校をなくし、適正な規模の学校づくり
- 2 町内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化
- 3 小中一貫教育の推進
- 4 特定の分野（語学，理系科目，スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり
- 5 スクールソーシャルワーカー（子供が抱える様々な問題の解決を図る専門職）の充実
- 6 コミュニティ・スクール（保護者や地域が学校運営に参画する仕組み）の充実
- 7 学校の先生や支援スタッフの人的配置の充実
- 8 ICT 教育推進のための情報機器の充実
- 9 持続可能な社会の実現を目指した学習・教育活動の取組^{※1}
- 10 防災，防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり
- 11 土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加
- 12 その他（）
- 13 わからない

※1:持続可能な開発のための教育 ESD (Education for Sustainable Development)。地球環境問題等を自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組む学習・教育活動のこと。

3 学校組織・勤務環境について

問 13 あなたは職務上の悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------|
| 1 職場の管理職 | 2 職場の同僚 |
| 3 別の学校の元同僚・管理職 | 4 教育委員会 |
| 5 民間の相談機関（カウンセラーなど） | 6 家族 |
| 7 相談したいが、周りに相談できる相手がいない | 8 友人 |
| 9 その他（ ） | |
| 10 特に悩みはないため、誰かに相談することはない | |

問 14 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。(○は1つ)

- 1 大変忙しい 2 時々忙しい 3 あまり忙しくない 4 忙しくない

問 15 問 14 で 1 と 2 に ○ をつけた方にうかがいます。

忙しいと感じる原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|--|--------------|
| 1 報告書類の作成 | 2 部活動の指導 | 3 保護者・来客への対応 |
| 4 授業の準備 | 5 会議が多い | 6 研修への参加 |
| 7 生活指導 | 8 進路指導 | 9 事務処理が多い |
| 10 行事の準備 | 11 その他（ ） | |

問 16 あなたは職務の忙しさを改善するために、何か取り組んでいることはありますか。ご自由にお書きください。

()

問 17 あなたが児童生徒の生徒指導をする上での現任校の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 指導をしているが効果が表れない
- 2 児童生徒との信頼関係が築けない
- 3 保護者の協力が得られない
- 4 保護者の学校不信による不満が大きくなっている
- 5 周りの教師の協力・援助が得られない
- 6 学校が組織的に対応し問題解決にあたる体制になっていない
- 7 生徒指導にかかる時間が十分に取れない
- 8 その他 ()
- 9 特に課題はない

問 18 あなたが児童生徒の学習指導をする上での現任校の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 基礎的な学力の向上を目指した指導力の不足
- 2 観察・実験などを多く取り入れた理数教育の指導力の不足
- 3 教育用コンピュータなどを使いこなす ICT 活用能力の不足
- 4 ICT 教育に対応したネットワークやタブレット端末などの不足
- 5 児童生徒のコミュニケーション能力を育成する力の不足
- 6 児童生徒それぞれに対応した進路指導力の不足
- 7 個に応じた学習指導力の不足
- 8 児童生徒が楽しんで学べる学級づくりに向けた取組不足
- 9 その他 ()
- 10 特に課題はない

4 教員の資質向上について

問 19 あなたは教師として特に必要な能力は何だと思えますか。(○は3つ以内)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 教科の指導力 | 2 学級の経営力 |
| 3 豊かな人間性 | 4 子供を理解する能力 |
| 5 コミュニケーション能力 | 6 使命感や情熱、教育への熱意 |
| 7 公務員としての義務の自覚 | 8 子供への愛情 |
| 9 社会性・協調性 | 10 バランス感覚・一般社会の常識 |
| 11 その他 () | |

問 20 あなたは教職員の資質向上のために必要な研修についてどのように感じますか。

①～⑩の研修内容の必要性についてあなたのお考えに一番近い番号に○をつけてください。
 (○は①～⑩についてそれぞれひとつずつ)

	問 20-1 研修の必要性			
	必要 だと思 う	どちらか いと 必要 だと思 う	どちらか いと 必要 だと思 わない	必要 だと思 わない
①教科の指導力を高める研修	1	2	3	4
②子供の理解・学級経営の指導力を高める研修	1	2	3	4
③生活指導・教育相談の能力を高める研修	1	2	3	4
④教育課題に関する研修 (環境・国際理解・キャリア・福祉など)	1	2	3	4
⑤人権・道徳教育に関する研修	1	2	3	4
⑥健康教育・体力向上に関する研修	1	2	3	4
⑦安全教育に関する研修	1	2	3	4
⑧特別支援教育に関する研修	1	2	3	4
⑨社会体験・企業体験などの研修	1	2	3	4
⑩教育用コンピュータの活用など ICT を活用し た教育の研修	1	2	3	4
問 20-2 上記①～⑩以外に教職員の資質向上のために必要な研修があればお書きください。				

問 21 あなたは保護者との対応で今現在悩んでいることはありますか。(○は1つ)

また、悩んでいる保護者との対応があれば、下枠に内容を具体的にお書きください。

- 1 たくさんある (対応できる範囲を超えている) 2 ある程度ある (対応できる範囲)
 3 あまりない 4 まったくない

悩んでいる保護者との対応 (具体的にお書きください)

5 地域と学校の連携について

問 22 あなたの勤務校では、地域と家庭、学校の連携・協力体制が整っていると思いますか。
 (○は1つ)

- 1 よく整っていると思う 2 整っていると思う
 3 あまり整っているとは思えない 4 まったく整っているとは思えない
 5 わからない 6 その他 ()

問 23 あなたは学校・地域・家庭が連携協力するのに必要なことは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 PTA 活動の活性化
- 2 地域におけるスポーツ活動の環境整備
- 3 家族同士の交流, 地域コミュニティの活性化
- 4 地域の大人に対する地域の教育力の積極的な意識づけ
- 5 学校からの情報提供 (ホームページ, お知らせ等)
- 6 地域におけるふれあい活動の推進
- 7 地域の伝統芸能・スポーツ・芸術文化活動への児童・生徒の参加促進
- 8 保護者・教職員・地域住民を対象としたコミュニケーションの場づくり
- 9 学校運営に対する地域の方々の参加促進
- 10 その他 ()
- 11 わからない

6 学校の施設, 安心・安全な環境について

問 24 あなたが勤務されている学校の施設や設備等について充実や改善してほしいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 情報通信技術を活用した教育に必要なコンピュータなど ICT 機器の充実
- 2 授業で使う備品の更新 (楽器, 体育器具など)
- 3 机や椅子などの備品の更新
- 4 学校図書室の蔵書の充実
- 5 カウンセリング室・相談室の整備
- 6 校内のバリアフリーの整備
- 7 教室の冷暖房設備
- 8 トイレの改修 (便器の洋式化)
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問 25 あなたが勤務されている学校の安全な教育環境づくりで, 特に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(○は1つ)

- 1 災害等緊急時の保護者との連絡体制
- 2 災害時等の避難訓練の充実
- 3 学校施設の防犯体制の強化
- 4 自転車の乗り方などの交通安全教育
- 5 登下校時の見守り等の防犯体制
- 6 その他 ()
- 7 特にない

問 26 あなたが勤務されている学校の児童生徒が安心して学校で過ごせる環境づくりで、特に力を入れてほしいものはありますか。(○は1つ)

- 1 生徒指導教員が中心となった校内の指導体制の充実
- 2 スクールカウンセラーの派遣などのサポート体制の強化
- 3 児童生徒が取り組む暴力から自分を守るプログラム等の活用
- 4 学校・家庭・地域が連携して児童生徒の自律と社会性を育成する取組
- 5 児童相談所等の関係機関とのネットワークの強化
- 6 その他 ()
- 7 特にない

7 持続可能な開発目標 (SDGs) について

問 27 「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」を目標に、2030年までに世界共通の17の目標が掲げられています。また、教育に関する目標4として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。

あなたは主に学校教育において、教育の質を高めていく上で、今後何が必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 就学前教育を一元化し、教育水準を均等化させること
- 2 画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること
- 3 生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと
- 4 世界で活躍できるようなグローバルな人材を育てること
- 5 行政と民間が連携し、実践的な事柄を学べる機会を設けること
- 6 優秀な教員を育てることができる学校環境を整えること
- 7 その他 ()
- 8 わからない

最後に、阿見町の教育についてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

アンケート票は封筒に入れ封をして、11月 日()までに教頭先生にご提出ください。アンケート票や封筒は無記名でお願いします。

